

産業界との連携協定に基づく活動実績(令和7年度)

1. 公立大学法人名城大学と一般社団法人美ら島財団との包括連携協力に関する協定書

活動団体名	活動名	参加者数(教員)	参加者数(学生)	実施年月日	実施地域	実施場所	活動内容(200文字以内)
1 遠矢ゼミ	スタンドアップパドルボード体験会	0	12	5-10月 毎月開催	本部町	海洋博公園エメラルドビーチ	sup・スタンドアップパドルボードの安全な普及と育成のために体験会の監視補助を行う。

2. 「道の駅」と大学との連携企画に関する基本協定

活動団体名	活動名	参加者数(教員)	参加者数(学生)	実施年月日	実施地域	実施場所	活動内容(200文字以内)
1 地域連携機構	「道の駅許田」の救急法講習会及び食育(ベジチェック)	調査・参加1	0	2025/9/9	名護市	名護市許田区公民館	道の駅からの要望、日本赤十字社沖縄県支部の協力により講習会を実施した。道の駅職員や許田区の住民を対象とした救急法講習会は初めての試みで、救急法への意識を高める機会となった。「今後の対応に自信がいった。」「地域を巻き込んで大学連携が出来て良かった。」との感想もあった。ベジチェックを活用し野菜摂取状況確認を行いながら健康管理の動機づけも実施した。今後も救急法の講習会を継続したい。
2 地域連携機構	「道の駅おおぎみ」の活用方策と利用者満足度調査	調整1	0	2025/11/4	大宜味村	大宜味村活性化センター2Fアリーナホール(旧道の駅おおぎみ)	道の駅からの要望、日本赤十字社沖縄県支部の協力により講習会を実施した。道の駅職員や大宜味村役場企画環境課、大宜味村観光協会、道の駅サンライズひがし、道の駅おおぎみ・やんばるの森ビジターセンター職員等の参加があった。「職場にもAEDが設置されているが、使用方法を学べたのは今回が初めてだったので、非常に良かった。」「とても分かりやすく楽しい講義だった。」「改めて心臓蘇生、AEDの重要性を実感できた」など、好評が得られた。今後も救急法の講習会を継続したい。
3 地域連携機構	「道の駅やんばるバイナッブルの丘安波」の救急法講習会及び食育(ベジチェック)	調整・参加1	0	2026/2/28	国頭村	安波小学校体育館	道の駅からの要望、日本赤十字社沖縄県支部の協力により、国頭村安波区内の4拠点(道の駅やんばるバイナッブルの丘安波、安波区住民、安波小学校教諭・児童、やんばる学びの森)の参加で実施した。地域全体の安全意識の醸成を図ることができた。また、ベジチェックにより健康意識の向上にもつなげた。参加者からは、「大人だけでなく、子どもと一緒に学ぶことで社内・家庭問わず役立つ知識だと実感できた。」の感想があった。今後、定期的に救急法の知識を復習し、習熟度を維持することが課題である。